

常任委員会だより No.7

平成31年3月20日
港区立麻布小学校 PTA

『常任委員会』は、安達会長、黒田校長、宮島副校長、本部役員、学年部・広報部・校外指導部の各部長・副部長、各学年の学年部員で構成されており、PTA 主催行事や活動、学校関係の懸案などについて報告・連絡・協議等をおこなっています。

常任委員の活動を「常任委員会だより」で麻布小PTA 会員の皆様にお知らせいたします。

第7回常任委員会 平成31年3月13日(水) 10:00～ 麻布小2階会議室

1. 安達会長より

今年度最後の常任役員会ということで新しい役員の方々に来ていただきましてありがとうございます。また、まだ終わってはいませんが1年間ありがとうございました。3月は涙の季節です。先日も6年生の謝恩会に呼んでいただいて涙しましたし、今後もPTAとして幼稚園の修了式、六本木中学校の卒業式にも行くことになっています。

PTAのあり方として、PTAが時代に合わないのではないかという意見が表面化してきて、内外から聞かれるようになりました。後ほど報告しますが、港区18校の集まりが毎月1回あり、その中でいろいろな意見が交わされています。麻布小学校でも私が考える来年度以降のPTAのあり方を話したいと思います。

ある保護者の方からPTAに学校でお子さんが苦勞しているという相談を受けました。直接本部のメールアドレスにメールが届き、その前にお話は聞いていましたが、その話をもって学校と相談という一週間でした。そのお子様と保護者の方が苦しんでいることがメールからすごく伝わり、PTAとしてできることは限られますが、PTAとして一保護者として何かできることがないか常にこれらかも考えて、PTA会員の皆様に接していこうと思っています。PTAとして行事をやったり、決められている事をやる組織という枠から外れて、助け合っていけるような親同士の仲間としても機能できたらいいと思っています。

2. 黒田校長より

まもなく平成30年度が終わろうとしています。この1年間PTAからとても助けをいただきまして本当にありがとうございます。授業日があと7日ということでいよいよ押し迫ってきたなと思っています。

6年生の謝恩会に参加してきました。PTA会長に「ピリブ」という曲をゆっくりしたテンポでピアノ演奏をしていただきとても感動いたしました。また4年生が「成長を祝う会」として1/2成人式を行いました。4年生も恭しく緊張しながら夢を語り、私から一人一人に証書を授ける会がありました。まだまだ未完成ですが、10歳まで一生懸命に生きてきた、学んできた、元気でここまで来たというお祝いだと思います。そういうことを祝うことができ本当に良かったと思います。まだまだ6年生も他の学年も伸びしろがたくさんありますので、これからまた子供たちを育て、そして子供たちに期待していきたいと思っています。

6～7人の6年生と校長室で会食をしています。中学校も決まり、制服を買った話や部活の話などいろいろなことを話してくれました。今、一番いい顔をしている、一番のびのびしている、そんなことを感じる事ができました。残りわずか、しっかり練習して卒業式に臨みたいと思います。

鼓笛隊の移杖式がありました。6年生から新5年生と新6年生にすべての楽器を移杖しました。新5年生はリコーダーです。早速全校朝会で披露してくれました。来年度の鼓笛のパートは30パートあります。新6年生は楽器のオーディションをしています。決まらない、または技術が追い付かない、あるいは受けないという子があると新6年生になってもリコーダーになります。しかし、5年生でも6年生でもリコーダーをやるのは可哀想でなんとか楽器を増やしたいという思いがずっとありました。事務とPTA会長に相談をしたところ、PTA会長の方から修理も含めて楽器のための積立金があるというお言葉を頂きました。音楽の専科教諭に欲しいものを聞いたら45万円前後でした。もっと使って大丈夫ですよとの話がありまして、あと10万円ぐらい見積もらせていただきました。ドラムセット2台、別のドラムセット2台、シンバル1つ、マーチングベル2台、マーチングキーボード、総額50数万円の楽器を買っていただいて、6年生全員が楽器の担当になるという希望が出てきます。

また購入が決まれば、来年の新6年生、また再来年の新6年生にも楽器を使ってもらえるので、申し訳ないのですが、学校としてお金のことでPTAに甘える形をとらせていただくことになると思います。子供たちに還元したいと思います。

3. 宮島副校長より

今年度PTA常任委員会が最後ということになります。私は、ほぼ毎日、朝6：30頃学校へ着きまして、一通り窓を開けながら校内を一周しまして、校庭も必ず見て回っています。そこには季節の移り変わりがあって、ここ最近では菜の花が咲いていて春の訪れを感じていました。梅の花が咲き、桜のつぼみも開いてきて、確実に春が来ているなということを実感しています。

常任委員会では麻布小学校の良いところを紹介してきましたが、今日は最後ということでお礼も含めまして、不慣れな私を支えてくれたPTAの方々の絆に感動しております。1年間支えていただき本当にありがとうございました。今年1年関わらせていただいて、誰でも参加できるPTAを目指して電子化し、効率化を図るということで、より働きやすいPTAを目指して改革が進んでいます。新しく関われる方は来年度、本領を發揮していただき、よろしくお願ひしたいと思います。1年間ありがとうございました。

4. 小P連・地区委員会報告

小P連は、小学校PTA連合の略で月に1回区役所の会議室を使って行われている会で、そこで話し合われたことを常任委員会で報告をさせていただいています。

1月2月と会がありまして、校庭開放の話がありました。今年度はPTAとは関係なく、ご厚意で有志の保護者を中心に校庭を開放して子供たちを見守るということをしていましたが、来年度以降は港区の管轄になります。港区がもともとシルバーさんの団体をお願いをするつもりで予算を組んでいましたが、資格がないとできないことがわかり、資格を持った人がいる民間企業に委託することになりました。かなり予算が少ないということがわかりまして、校庭開放をしている全17校を予算で均等に割ると年15回の実施となります。麻布小学校は年50数回実施されていたので、それが大幅に減ることになります。麻布小学校のみでは打撃が大きいです。区全体だと校庭開放があまり機能していない学校や、利用者が多い学校もあり、校庭開放の利用頻度に差があります。もしかしたらその15回を超えた回数が麻布小学校に振り分けられる可能性もありますが、あまり過度な期待はできません。行政としても予想外の展開になり、その辺の話し合いを行政でも小P連でも何ヶ月もやってきました。実施回数が足りないと感じる場合はお金を払って業者にお願いすることもできますし、本当に校庭開放が大切であればPTAないし任意の団体がこれまで有志の保護者がやってきたようなことを無償でやることは可能だと思いますので、そういった声がありましたらお聞かせください。校庭を利用する際の窓口は副校長先生になります。

港区の半数以上の学校のPTAでも資料の電子化が進んでいます。それぞれ足並みは違いますが情報交換をしながら進めているところです。個人情報の取り扱いについては小P連でも問題になっており、ある学校のPTA役員の勧誘のために学校で管理している連絡先を使ってしまったということで教育委員会でも問題になり、それについて会長同士の意見交換が行われました。麻布小学校はPTAでも連絡先を頂戴して、学校は学校で連絡先を頂戴しているので問題はないのですが、電子化に伴い、個人情報の扱いについてはこれからも慎重かつ安全、確実にやっていきたいと思います。

5. PTAボランティア改革について

来年度の役員を引き受けてくださった皆様ありがとうございます。まだお名前を聞いてない方、知っている顔もいますがぜひ楽しんでやっていきましょう。今年度、いろいろなところで活躍をしてくださった1人1人の役員の方々には感謝しております。ありがとうございます。その中でPTAも変わらないといけな時期になってきていると思います。私があと少なくとも1年は継続することになりましたので、その間、できることはしていきたいと思っています。私がPTAに関わったのは去年の今頃で、それまではPTAの活動はもちつきしか関わっていなかったので、当時は何もわからず助けていただきながらいろいろ学び、その中でいくつか気付くことがありあましたので、それを「4つのガイドラインと3つの質問」という形で来年度にもっていけたらと思います。改革という言葉をあえて使いますが、なにかを思い切って削るのではなく、常にこういうことを意識しながらやりましょうと

ということです。

『4つのガイドライン』1つ目は「できる人ができる範囲でやる」です。当たり前にも思われるかも知れないですが、やはりどこかで無理をしてしまう方とかいると思います、無理しないとできないというご意見もいただきました。PTAは今のところ無理しないとちょっと何かを犠牲にしないとできない活動になっていますが、私はいくつかボランティア団体に関わってしまっていて、できる人ができるときにだけやって動いている組織もあるので、本来の意味のボランティアに立ち返ってできる人ができる範囲でやる形に戻りたいなと思います。2つ目は「お互いの立場を尊重する」です。仕事を持っている方もいますし、専業主婦の方もいます。もしかしたらこれからパパがたくさん入ってくるかもしれません。お子さんがたくさんいる人もいれば子供が1人のご家庭などいろいろな形態がありますので、それぞれお互いの立場を尊重しながらやっていけたらと思います。3つ目は「家などの学外でもできることは学外でやる」です。どうしてもPTA活動というと、集まってその場にはいないとやっているとってもらえないということをお心配する方もいらっしゃるかもしれませんが、今年度も会計さんでお1人お仕事があるので学校に来られないけど、エクセルなどの仕事は全て引き受けてくれた方もいました。ただ個人情報に関連することなど持ち帰れない仕事もありますので、その辺は可能な範囲になりますが、持っていけるものは学外でやっていきましょう。4つ目は「無理があるとき困ったときは助けを求めろ」です。ボランティアをやっていると、ボランティアだからと抱えてしまうことがあると思います。困った時は困っていますということを発信して、周りに助けてくれる人がいると思うので、そこからスタートできるようにしたいです。

『3つの質問』を投げかけていきたいと思っています。1つ目「子どもの役に立っているか」。PTA活動の目的は、子供の成長と教育、学び、親の教養を高めるところにあります。究極的なところは子供の役に立っているかどうかだと思います。今やっていること、これからやろうとしていることが本当に子供の役に立つのか。もし役に立っていない活動があるとすればそこは見直してもいいのではないかと思います。2つ目「もっとシンプルにできないか」。組織で動くこととあらゆることがシステムティックに組織立って行い、その方が楽なこともあります。その副産物としていろいろなことが複雑になり、いらぬものがたくさん付随することもあると思うので、常にもっとシンプルにできるかもしれないという疑問を持ちながらやったらどうかなと思います。3つ目、これが一番初めのガイドラインと並んで今回の2つの柱だと思っています。「楽しいか」です。役員を選ぶ際に下を向いてしまうのはPTAをやると楽しいっていいのがないからかだと思います。副会長、本部役員の仕事量、学年部さんの大変さ、広報部さんの原稿収集や校外指導部さんの暑い日寒い日の活動と比べると私の立場というのはいびり楽なのですが、私自身PTAに関わってみて楽しかったです。ですから、その楽しさがもっと増幅していくようなPTAにしていきたいと思っています。「できる人ができる範囲でやる」と「楽しいか」ということを常に考えていければと思っています。改革というには大袈裟ですが、ボランティアに関わりやすい組織、もっとやってみようかなと思えるような活動にしていきたいと考えています。

6. 次年度PTAについて

- 平成30年度事業報告、平成31年度事業計画案について
現在、役員と副会長の方で作成しています。4月のPTA総会で報告させていただきますのでよろしくお願ひします。
- 平成30年度会計決算および会計監査について
現在作成中です。会計監査日が4月2日（火）になりましたので、その日に間に合うように作成いたします。
- 総会までのスケジュール
現在、総会資料を作成しています。その資料の中に各部の部長、副部長、会計と会計監査の方の名前が必要になりますので決まり次第本部に連絡をください。総会の出欠表は4月の始業式迎いに配布する予定です。期日を守って提出してください。今回出欠表と委任状は両方とも記入をして切り取らずに提出をしてください。出席で提出した方で当日欠席された場合はその委任状を優先させていただきます。
- 学年部の予算案について
次年度の学年部の予算案では15万円ありますが、今年度は前期分の8万円内で収まっているの

で、来年度予算案を8万円に変更いたします。

7. 次年度の行事について

来年度、PTAの行事として大きな変化があるのは夏祭りです。保護者会などで学年部さんから説明をしていただいたりして保護者会に出席されている方には大体周知していただいていると思います。夏の間、体育館にエアコン工事が入るということと、去年は熱中症対策が大変で今年も夏が熱くなるかもしれないということで、学校に希望を出していきまして、結果的に9月21日（土）に秋祭りを行うことになりました。今の本部役員と学校と話し合っただけですが、土曜日の午前中にするとう帰宅も通常の土曜日授業と同じになるので、何とか土曜日の午前中にできないかと学校に問い、学校との共催という形で、授業の一環として秋祭りを行うことになりました。中身につきましても、これまでPTAのボランティアの方々それぞれのお店を担当していましたが、そこを先生と連携しながら子供たちが店番をできるような形にできれば、教育的観点からみても、店番を通してボランティアの精神を養い、仲間や親との協力や人に楽しんでもらうなど、子供の学びの場としても機能するのではないかと考えています。担任の先生のご協力をお願いすることになりますので、先生たちと足並みを揃えながら、低学年は難しいので、ある学年から上をそういった形でやりたいと考えています。その辺は、来年度の本部の方、学校側と相談しながら子供たちの学びの場として機能するような秋祭りになればと思います。ここから先はできるかどうか来年度の本部役員と話さないといけないのですが、バザーみたいなのができればと思っています。教育的観点からみると金銭的感覚をその場で身に付けることができると思います。かし祭りの時の農産物の販売では生き生きとした姿を見ることができました。そういったことがバザーを通してできたらいいなということと、ファンレイジングという形で、子供たちが自分たちが必要だと思うことを先生方と話し合っただけで、目標が達成できたら子供たちのための何かを購入する。という試みも実現可能かどうか慎重に検討し、実現できればと現本部役員と話していました。土曜日授業の一環になるので飲食不可になりますので、フランクフルトやかき氷は扱えなくなります。

12月7日（土）にもちつき会が予定されています。これも来年度本部役員と保健所との話し合いになりますが、例年厳しい指導がありますのでこれまでやっていた2種類のもちの試食に変わって、お汁粉1種類にするなど、それによって1からシミュレーションが必要になり、面倒なことになるかもしれませんが、お汁粉にすることで80度である一定の時間火を通すので、感染症のリスクが大幅に減ります。そういったことも来年度の本部役員と考えていきたいと思っています。

8. 電子化について

個人情報の扱いを厳重に行うと共に、来年度の学年部さんにはこれまでやっていたメールアドレスの収集とリスト作成はなくなります。今あるメーリングリストを継続して使うことになります。そこで懸念されることとして、学年部さんが自由に発信できるようにするのか、それとも部長だけにするのか、会長がすべて連絡をもらって会長が発信をするのか、ということをお話し合いたいと思います。不特定多数の方が関われば関わるほど個人情報は漏洩するリスクがでてきますので、その辺は慎重にやっていきたいと思っています。今年度は本部と広報部がそれを利用できる形にしていますが、来年度以降は学年部さん全学年全員となるとかなりの数になるので、慎重に進めていきたいと思っています。

広報部さんの来年度のお仕事として、これまで広報部の部長さんと私で連携してメルマガを発行していましたが、広報部部長を中心として広報部さんの方にやっていただく形にしたいと思っています。義務ではなく不定期なので、メルマガを発信したいときに発信する形になると思います。

9. 各部報告

学年部

- 本部役員、専門部委員選出について

本部役員については各学年部で最後の保護者会までに次年度本部役員2名を選出し、本日の常任委員会に出席をお願いしました。各専門部委員については本日の常任委員会までではありませんが、なるべく早く選出をお願いしています。

- 31年度PTA歓送迎会について

4月26日（金）15時から開催いたします。案内状は3月8日（金）に学校メールで一括送

信をいたしました。今年度6年生の締め切りは卒業式までとし、新1年生から新6年生の締め切りは4月12日（金）までとなっております。

広報部

「あさのみ」については、年度内の発行に向けて準備中です。また、会長のお話にもありましたように、今年度、不定期でメールマガジン・ブログに記事を作成してきました。1月にPTAの業務変更についての記事、2月に本部役員の仕事を紹介する記事を作成しました。3月残り少ないですが、各専門部の仕事を紹介する記事を書こうと思っています。また、広報部内で、情報管理についてのガイドライン作成をしようと思っています。

校外指導部

1月19日、2月2日、2月16日、3月2日に土曜パトロールを行いました。今年度もお忙しい中、多くのボランティアの方々にご協力をいただきまして、無事に防犯パトロールを行うことができました。ありがとうございました。4月には春の交通安全週間期間中の防犯パトロールと新年度校外指導部のメンバーとともに新旧合同パトロールを予定しております。

10. その他

・役員選出について

学年部・会長・本部役員・校長・副校長で議論になりましたが、結論はでませんでした。全学年でのルール統一は難しく、クラスごとにルールを決めているところと、決めていないところがあります。PTA全体の改革と並行しながら、学年部を中心に今後も議論を進めていく予定です。

今年度の常任委員会は第7回で終了になります。PTA活動へのご協力、ありがとうございました。

麻布小学校PTA本部へのご意見、ご質問はこちらまで
azabuhonbu@gmail.com